

平成23年4月5日

お客様各位

鹿沼相互信用金庫
理事長 七久保一郎

しんきんビル1号館の新築について

拝啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」は、栃木県南部も震度6強を観測し、県内各地に大きな被害を与えました。

当金庫の「しんきんビル1号館（本部・本店営業部）」（以下「1号館」「2号館」といいます。）にも、柱・壁の一部に亀裂が生じてしまいました。その後も大きな余震が相次いだことから、お客様と職員の安全を優先し、本店営業部を駅前支店内の仮店舗に移転し、3月14日より通常営業を開始しました。同時に、「1号館」の本部機能を「2号館」に移転いたしました。ほかの営業店に被害はなく、通常通り営業を行っております。

その後、「1号館」について、建築士等の構造診断を受検しましたところ、倒壊のおそれはないものの、強固な耐震工事を施す必要があり、多額の修繕費用と室内の狭隘化（柱・壁の設置）という2つの問題に直面いたしました。

「1号館」は、昭和49年に建設され、7階建のうち1～2階を「上田町支店」として使用しておりました。その後、昭和58年に創立60周年記念事業の機会に改装を施し、旧本店（現仲町支店）・本部を移転しました。すでに建築後37年が経過し、バリアフリー構造、お客様スペース、空調設備等に課題を抱えており、つねづね新築の構想を抱いておりました。

当金庫は、経営理念に基づき、地域金融機関としてお客様の利便性向上に資する使命を担っております。現在の環境を総合的に判断した結果、3月25日開催の理事会において、「1号館」を取壊し、同敷地内に「新しんきんビル」の建築を決定いたしました。

「新しんきんビル」は早急に建築を開始し、平成24年6月頃の完成を目指してまいります。

お客様には当分の間大変ご不便をおかけするものと存じますが、事情をご賢察のうえ今後とも一層のお引き立て、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

敬具